

みやまえ

H29. 6. 9 No. 4

歓声、拍手、涙・・・運動会終わる

校長・金子 和義



6月3日、青空の下、宮前小学校運動会が行われました。開会式に始まり、4年生の徒競走で種目はスタートしました。対抗種目は各学年・ブロックとも息詰まる闘いが繰り広げられました。リードする青組、すぐさま追いつく赤組。その流れがずっと続き、最後の種目で決着という展開になりました。最終決戦「大玉送り」も1勝1敗で、第3回戦の勝者が優勝という白熱した運動会・・・。

しかし、盛り上がったのは対抗種目だけではありません。双方の色が一体となり、声の限りを出し尽くした応援アトラクション。懐かしいメロディにかわいい演技を添えた低学年「UFO」。リズムカルな動きに笑顔で楽しませた中学年「Let's Sun Dance」。そして、団体演技の最後は高学年の組体操「友～2017～」。

そこにはそれぞれ、発達段階に応じた子供たちの個性が表現されていました。特に、組体操「人間起こし」では、掛け声とともに乱れず一斉に起き上がった完成の瞬間に、会場全体から大きな歓声と拍手が沸きあがりました。

本番に至るまで、いろいろなことがありました。

休み時間に子供たちだけで生き生きと自主的に練習を続ける応援団メンバー、その中に2年前は体調不良で動くのさえ困難だった子のエネルギー溢る姿がありました。

和太鼓が響く図工室、そこにはまだ経験の浅い友だちのために、滑川音頭で共に汗を流すチビ子太鼓の仲間がいました。

忙しい練習の合間に少しできた隙間時間、自分の分担になったスローガン文字作成に取り組む代表委員の子供たちがいました。

原因不明の病気のため車椅子での運動会に、どうすればその子なりの参加ができるか、ギリギリまで考え続けた親子そして担任がいました。

本番3日前の玉入れ練習中のアクシデント、そして松葉杖で仲間の練習を見学する女の子へやさしい言葉がけを続けた多くの1年生がいました。

強風で予定通りには進まなかった前日準備、3日の朝5時から校庭で献身的に作業を行う宮小職員がいました。

そして、迎えた当日でした。

最終結果は185対180、優勝旗とトロフィーは赤組の手に渡りました。

歓喜する赤組、落胆する青組。しかし、共に疲れ切った中で最後まで見事な態度の閉会式でした。

その後の解団式でも青組の涙は続きました。

嗚咽する子がいました。号泣する子がいました。1年生で涙する子がいました。

これだけ多くが人目をはばからず涙する小学校の運動会は、私にとっては初の体験でした。それは一生懸命取り組んだ「証」と言えるかもしれません。

人生に、努力が報われる経験は必要です。

しかし、努力してなお思い通りにいかない小さな挫折感も、また大切な部分だと私は考えます。片付け後、校舎階段で、赤組6年生数名に会いました。

「青組の、今の気持ちは分かるか？」との私の問いに「はい。」と真顔で浮かれず応えた子供たち。「謙虚におごらない勝者」「気持ちを素直に表わした強い敗者」、どちらも素敵に見えました。

小学校時代のことはやがて遠い過去となり、子供たちの記憶からは薄れていく、そういうものだと私は思います。

しかし、何をやったか忘れても、一生懸命取り組んだこと、歯を食いしばってがんばったことは体のどこかに刻まれ、確かなエネルギーとなりその子を支えていく、そんな気がします。

「ひたむきな姿に涙が出ました。」「何回泣いたかわかりません。」たくさん届いた賞賛の言葉を励みに、宮小の子供たちは次なる道へ歩みを進めます。

439名の子供たち。今年も439通りの、関わった者にしかわからない小さなドラマの数々が静かに幕を閉じました。

力強く



競い合い

華麗に



7月の行事予定

- 4日(火)滑川町教育委員会・西部教育事務所教育支援担当訪問(1日)、なかよしタイム
- 6日(木)読み聞かせ、学校保健委員会、委員会活動
- 7日(金)全学年5時間授業
- 11日(火)音楽タイム
- 13日(木)クラブ活動
- 14日(金)全学年5時間授業
- 17日(月)海の日
- 18日(火)全学年5時間授業(月曜日課です。授業準備を間違えないようにお願いします。)
- 19日(水)特別日課3時間授業(下校時刻11時30分)
- 20日(木)1学期終業式、一斉下校11時30分